

キリスト教ハンセン病救済運動の軌跡

目次

序 章 本書の意義と課題…………… 1

一 本書の目的 1

二 ハンセン病へのキリスト教の役割 4

三 先行研究と本書の課題 6

(一) 通史 6

(二) 人物史 7

(三) 施設史 8

(四) 教会史・伝道史 8

(五) キリスト教との関連 9

四 ハンセン病をめぐる動向 11

五 用語の問題 16

第一章 キリスト教とハンセン病…………… 20

一 療養所の設置 20

(一) キリスト教と療養所 20

(二) カトリック 21

(三) 聖公会 26

(四) その他	34
(五) キリスト教系療養所と隔離政策	38
二 国公立療養所の医師、看護婦、事務職員としての勤務	41
(一) 国公立療養所とキリスト者	41
(二) 男性医師	43
(三) 女性医師	47
(四) 事務職員	50
(五) 看護婦	52
(六) 国公立療養所での働きの意味	53
三 療養所へのキリスト教宣教	54
(一) 療養所と教会	54
(二) 超教派・単立教会	58
(三) 聖公会	63
(四) カトリック	65
(五) 園外から療養所教会への働きかけ	68
(六) キリスト教信仰をもつ入所者	71
(七) 朝鮮での伝道	75
(八) 療養所教会とは何だったのか	76

第二章 飯野十造のハンセン病救済の行動と思想……………83

- 一 ハンセン病救済運動とキリスト者 83
- 二 飯野十造の生涯 86
- 三 飯野のハンセン病救済運動 92
- 四 「満洲」での運動と皇族への思慕 98
- 五 飯野の思想 103
- 六 飯野の評価について 107

第三章 熊本におけるキリスト者の行動―特に本妙寺事件・龍田寮事件をめぐる― ……110

- 一 熊本とハンセン病 110
- 二 九州M T Lの結成 112
- 三 九州M T Lの活動 117
- 四 本妙寺事件と九州M T L 123
- 五 龍田寮事件での行動と責任 129
- 六 潮谷総一郎と江藤安純 135
- 七 九州M T Lの評価 140

第四章 沖繩の療養所の設立とキリスト者の役割……………143

一 沖繩の特質 143

二 愛楽園設立まで 147

(一) 療養所側の動き 147

(二) 星塚敬愛園への大収容 149

(三) 青木恵哉の動き 154

(四) 沖繩M T Lの働き 159

(五) 服部団次郎の行動と思想 164

三 愛楽園設立後 171

四 宮古療養所での動き 177

五 沖繩のハンセン病救済の特徴 181

第五章 奄美大島におけるカトリックの影響——入所者の出産を中心に……………187

一 奄美大島を取り上げる意味 187

二 奄美大島のカトリックの状況 189

三 ハンセン病の状況 191

四 奄美和光園でのカトリックの広がり 194

五 入所者の出産と児童福祉施設の設置 196

六 カトリックの人物 202

